

日本と交流の長いマレーシア華人の研究会から3人が来日！

◇12・8開戦の日に緊急集会を開催します◇

日本軍は真珠湾攻撃より1時間以上前にマレー半島コタバルでイギリス軍と戦闘を始めていました。

「今の日本にもう黙ってられない！」という 東南アジアからの危惧の声を聴き、考えよう！

マレーシアで長い間、日本社会を見つめてきた組織の人たちが、日本政治の状況に危機感を持ち、声を届けたいと自ら来日を申し出ました。貴重な声を直接聴き、日本社会のこれから、そしてアジアとの友好のために何をなすべきか、考えましょう。

◆第二次世界大戦歴史研究会来日メンバー◆



研究会会長 **翁清玉さん**

Weng Qing Yu



事務局長 **陳松青さん**

Chen Song Qing



副事務局長 **陸培春さん**

Loke Pooi Choon

特別報告：**田中 宏さん**（一橋大学名誉教授）

今、日本社会や政治はアジアからどのように見えるのか？

今年8月、高嶋伸欣さん（琉球大名誉教授）主宰の「第42回マレー半島ツアー」で交流した際、マレーシアの華人団体の総元締め中華大会堂（華総）の「第二次世界大戦歴史研究会」幹部から、「最近の日本の政治・外交や一般社会の動きがどうにも心配でならない。私たちの気持ちを日本人のみなさんに直接聞いてもらいたいのので、年内にそのような機会を設けてもらえないか」という申し入れがありました。こうした声を直接聞く機会はありません。そこで緊急集会を用意しました。集会に多くの人たちが結集している姿を示すことは、マレーシアなど先の戦争で日本軍に侵略された国々の人々に、少しでも安心感を抱いてもらえることとなります。アジアとの友好のためにもぜひご来場ください。

2016年 **12月8日（木）16:00～18:45**

@ 衆議院第一議員会館・大会議室

国会議事堂の裏手です。

「国会議事堂前」（丸ノ内線、千代田線）1番出口徒歩3分、
「永田町」（有楽町線、南北線、半蔵門線）1番出口徒歩5分、
「溜池山王」（南北線、銀座線）番出口徒歩8分

☆参加費 500円（学生以下無料）

☆連絡先 E-mail murayamadanwa1995@ybb.ne.jp

恐縮ですがなるべく上記のメールアドレスまで、出席申し込みをお願いいたします。会場は300人定員です。

☆主催：村山首相談話を継承し発展させる会 *賛同団体を募集中です

第二次世界大戦歴史研究会の活動



毎年8月15日にクアラルンプールで開催している追悼式



追悼式に参加している現地の中高生



毎年、資料集などを編纂・出版



司会: **高嶋伸欣** さん (琉球大名譽教授)

マレーシア華人団体の総元締め中華大会堂（華総）の「第二次世界大戦歴史研究会」は、85年8月の中曽根首相による靖国神社参拝に対して翌86年8月15日から高嶋さんたちが始めた現地での住民犠牲者追悼行事を地元側から支援し、95年からは主催者として、追悼式に加え「戦争展」やシンポジウム、さらには各種文献・資料の刊行も行ってきています。特に最近では同会主催の8・15追悼式に日本大使館からも書記官が出席し献花を行なうなど、現地では広く知られている組織です。

そうした取り組みをしている「研究会」からの申し入れは、よくよくのものと思えます。また日本軍に侵略された国々の人々の声を、日本国内で聞く機会はなかなかありません。そこで、1941年の開戦から75年目に当たる今年12月8日（木）に、この集会（シンポジウム）を開催することにいたしました。この日程に合わせてマレーシアから来日するのは上記「歴史研究会」の会長（主席）と正副事務局長のトップ3（副事務局長は陸培春氏）です。3人とも、齒に衣を着せずにはっきりとした意見を述べる方です。ぜひアジアからのナマの声を聴いき、視野を拡げて、ともに考えましょう！

*12月11日（日）15時から横浜（かながわ県民サポートセンター）で、日本軍による戦争被害者の証言集会が開催されます。研究会会長の翁清玉さんも発言します。詳細は「アジアフォーラム横浜ホームページ」でどうぞ。
HP：<http://www.geocities.co.jp/SilkRoad-Lake/5383/>
問合せ：090-9346-5884（吉池）まで

*「わたしの弟は目の前で投げられ、銃剣で…！」鄭来さん

